

## 第6回次世代シンポ プログラム

発表 15分

質疑応答 8分

第1日 (5月30日)

9:50~9:55 開会挨拶 (実行委員長)

9:55~11:50

- 1-01 強力な抗腫瘍活性を有するハリコンドリン B 類縁体の合成研究 (東大院薬<sup>1</sup>, ハーバード大化<sup>2</sup>) ○ 占部大介<sup>1,2</sup>, 鎌木洋介<sup>2</sup>, 岸 義人<sup>2</sup>
- 1-02 Salinosporamide A の合成研究 (北里大薬<sup>1</sup>, 北里生命研<sup>2</sup>) ○福田岳夫<sup>1</sup>, 杉山晃平<sup>1</sup>, 有馬志保<sup>1</sup>, 長光 亨<sup>1</sup>, 針谷義弘<sup>1</sup>, 大村智<sup>2</sup>
- 1-03 GPCR を標的とする Hordatine A および Aperidine の合成研究 (静岡県大薬) ○脇本敏幸, 諏訪芳秀, 糠谷東雄, 菅 敏幸
- 1-04 Pd 触媒によるアレン連続環化反応を利用した Ergot Alkaloid 骨格の挙構築法開発と応用 (京大院薬) ○井貫晋輔, 大石真也, 藤井信孝, 大野浩章
- 1-05 ニッケル触媒による 3,4-ピリダインを用いた[2+2+2]環化付加反応の開発 (北大院薬) ○岩山俊彦, 佐藤美洋

11:50~13:20 昼休み (世話人会もしくは若手教員会議)

13:25~15:20 化学系薬学部会長挨拶

- 1-06 新規 C-シアロシド構築法の開発と CF<sub>2</sub> 連結型 GM4 アナログの合成 (理研) ○平井 剛, 渡邊 亨, 加藤麻理依, 袖岡幹子
- 1-07 新規糖ペプチド合成手法の開発と糖ペプチドライブラリ構築への応用 (塩野義製薬<sup>1</sup>, 北大院先端生命<sup>2</sup>, 産総研<sup>3</sup>) ○麓 昌高<sup>1</sup>, 西村紳一郎<sup>2,3</sup>
- 1-08 異宿主発現法で得られた新規抗菌物質 Pantocin C の構造と生合成遺伝子 (熊本大院先端機構<sup>1</sup>, Harvard Medical School<sup>2</sup>) ○藤田雅紀<sup>1</sup>, Jon Clardy<sup>2</sup>
- 1-09 環状ジ置換アミノ酸によるヘリカル二次構造の制御と不斉エポキシ化反応への応用 (九大院薬<sup>1</sup>, 国立衛研<sup>2</sup>, 大阪薬大<sup>3</sup>) ○長野正展<sup>1</sup>, 田中正一<sup>1</sup>, 栗原正明<sup>2</sup>, 土井光暢<sup>3</sup>, 末宗 洋<sup>1</sup>
- 1-10 求核触媒を用いる遠隔位官能基識別アシル化 (京大化研) ○菅 慶三, Valluru Krishna Reddy, 柴田 威, 川端猛夫

15:45~17:40

- 1-11 ラジカルカスケードを用いる多環式アルカロイドの全合成 (金沢大院薬) ○谷口剛史, 横山慎一, 石橋弘行
- 1-12 Dysiherbaine と neodysiherbaine A の立体制御合成 (長崎大院医歯薬) ○高橋圭介, 松村貴志, 石原 淳, 畑山 範
- 1-13 パラジウム触媒によるオレフィンの分子内シアノアミド化反応 (京大院薬) ○安井義純, 上崎春陽, 竹本佳司
- 1-14 ハロゲン架橋不斉イリジウム錯体の合成及び環状イミンの触媒的不斉水素化反応への展開 (阪大院基礎工<sup>1</sup>, ENSCP<sup>2</sup>) ○唯岡 弘<sup>1</sup>, 大嶋孝志<sup>1</sup>, Virginie Ratovelomanana-Vidal<sup>2</sup>, Jean Pierre Genet<sup>2</sup>, 真島和志<sup>1</sup>
- 1-15 輻輳型亜鉛アート錯体の設計 (理研<sup>1</sup>, 東大分生研<sup>2</sup>, 東大院薬<sup>3</sup>) ○古山溪行<sup>1,2</sup>, 有本 翔<sup>3</sup>, 小林稔<sup>3</sup>, 松本洋太郎<sup>3</sup>, 橋本祐一<sup>2</sup>, 内山真伸<sup>1</sup>

18:00~ 意見交換会

第2日 (5月31日)

9:20~10:29

- 2-01 光学活性  $\beta$ -ヒドロキシ- $\alpha$ -アミノ酸の製造プロセス開発と anti 選択的不斉水素化の実用化 (日産化学工業) ○小林英樹
- 2-02 相間移動触媒による不斉水酸化反応の開発と反応機構の解明 (昭和大薬) ○佐野大祐, 永田和弘, 伊藤 喬
- 2-03 ブロムソースを利用するアルコール類の光酸素酸化反応 (岐阜薬大) ○平島真一, 多田教浩, 伊藤彰近

10:45~11:54

- 2-04 ザンタノライドセスキテルペンの合成 (徳島大院薬) ○横江弘雅, 吉田昌裕, 宍戸宏造
- 2-05 カンデラリド類の合成研究 (東北薬大) ○小口剛正, 渡邊一弘, 阿部秀樹, 加藤 正
- 2-06 13-オキシイソゲノールの合成研究 (筑波大院数理物質) ○大好孝幸, 春名俊宏, 阿須間夕紀, 大村聡美, 青木健太, 早川一郎, 木越英夫

11:54~13:20 昼休み

13:20~13:25 第7回次世代シンポ予告 (次期実行委員長)

13:25~14:34

- 2-07 リン酸化アミノ酸の化学反応性を利用したセリン・トレオニンキナーゼ蛍光アッセイ法の開発 (名市大院薬) ○梅澤直樹, 秋田昌二, 樋口恒彦
- 2-08 DNA 配列選択的な 8-ヒドロキシグアニン検出プローブの創製研究 (阪大院薬) ○兒玉哲也, 三好哲也, 小比賀聡, 今西 武
- 2-09 Glutathione S-transferase (GST) 活性検出蛍光プローブの開発と応用 (東大院薬) ○藤川雄太, 浦野泰照, 井上英史, 長野哲雄

14:50~15:59

- 2-10 イノラートによるケトンの高立体選択的オレフィン化反応 - $\alpha$  位置換基の立体電子効果による回転選択性の制御- (九大総理工<sup>1</sup>, 茨城大理<sup>2</sup>, 九大先導研<sup>3</sup>) ○吉川 孝<sup>1</sup>, 伊藤康昭<sup>2</sup>, 森 聖治<sup>2</sup>, 新藤 充<sup>3</sup>
- 2-11 置換基効果を利用する効率的エン-イン閉環メタセシス反応の開発と応用 (東北薬大) ○今堀龍志, 小嶋英知, 舘山弘貴, 三原由起子, 高畑廣紀
- 2-12 ヒドラジン型有機分子触媒を用いた Biginelli 反応の開発 (広島大院医歯薬) ○鈴木一郎, 岩田ゆかり, 武田 敬

16:15~17:24

- 2-13 フォスファゼン塩基触媒を用いた機能性芳香族構築化学 (東北大院薬) ○中 寛史, 小関大揮, 伊藤慶祐, 根東義則
- 2-14 フェニルアルキンとアルデヒドとのカップリング-環化反応: 1段階インダノン合成 (昭和大薬) ○齊藤亜紀夫, 馬越正治, 柳生奈緒美, 榛澤雄二
- 2-15 新規複核 Schiff 塩基錯体を用いた触媒的不斉炭素-炭素結合形成反応 (東大院薬) ○半田晋也, 名川恵太, 五月女宜裕, Vijay Gnanadesikan, 松永茂樹, 柴崎正勝

16:15~17:24 閉会挨拶 (実行委員長)

